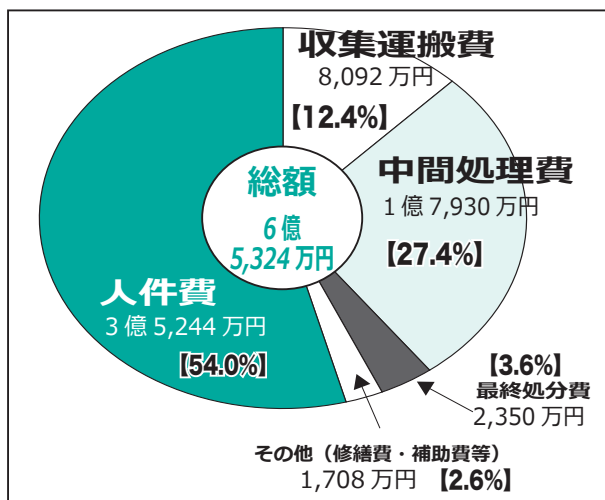




ごみ処理経費

発泡スチロールは熱で溶かし、固めてリサイクル業者に引き渡します。

【図 3】 ごみ処理経費の内訳（平成 18 年度）



年間 6 億 5 千万円かかっています

平成 18 年度のごみ処理経費は約 6 億 5 千万円で、内訳は左のグラフの通りです。これは 1 世帯当たりで約 2 万 3,700 円、1 人当たりでは約 9,700 円年間で掛かったことになります。また、1 トンのごみを処理するのに約 2 万 4,300 円掛かったことになります。

収集や焼却、埋め立てなどごみを適正に処理していくためには、労力や施設の整備、維持管理が必要となります。※【中間処理費】焼却・焼却灰処理など【最終処分費】埋立・不燃ごみ処理委託など

ごみ処理の有料化 Q & A

◆ 質 問 ◆

指定ごみ袋は変わるのですか？ 10 月 1 日からは今のごみ袋は使えないのですか？

◆ 答 え ◆ 「ごみ処理の有料化」に伴い、指定ごみ袋は変わります。新しい指定ごみ袋は 10 月 1 日から小売店で販売します。

今の指定ごみ袋は 12 月 31 日まではそのまま

使えます。ただし、来年 1 月 1 日からは使用できなくなりますので、資源ごみや燃やせないごみの袋としてご利用ください。また、2 円～5 円で販売される証紙シール（市役所、総合事務所、支所、公民館で 10 月から販売予定）を貼ると燃やせるごみの袋としても使えます。今後、現在の指定ごみ袋を購入する場合は、計画的な購入をお勧めします。